

管理栄養士からの力水

【今月のレシピ】豆腐と米粉のピザ

発酵させる手間もなく、混ぜて、のばして、焼く!!と、超シンプルな工程しかないので、調理時間も短く、
タイプ良い! ピザソースも、調味料を混ぜるだけ!!なのに、市販のピザソースに負けない美味しさ♡
トッピングがシンプルでも「手作りピザを作ったよ～」と自慢できる出来栄に、おなかもココロも大満足!



■ピザ1枚分=1,376kcal 塩分5.3g
■ピザ4等分= 344kcal 塩分1.3g/1切

材料 [23cm1枚分]

木綿豆腐 …… 350g
米粉 …… 200g
ベーキングパウダー …… 小さじ1.5
上白糖 …… 7g
塩 …… 1g
オリーブオイル …… 大さじ2
みりん …… 10g
蜂蜜 …… 5g
ケチャップ …… 15g
豆板醤 …… 小さじ1
濃口醤油 …… 5g
おろしにんにく …… 1g
冷凍コーン …… 30g
ピザ用チーズ …… 40g

作り方

1. ピザ生地を材料をすべてよく混ぜひとまとまりにする。
2. 1をオープンシートまたはアルミホイルなどの上で、丸く広げる。
※トースターなどのサイズに合わせ四角く広げても良い。
3. ピザソースの材料をすべて混ぜ合わせる。
4. 広げたピザ生地に、ピザソースを塗る。
5. お好みの具材をトッピングして、仕上げにチーズをトッピング
6. 温めたオーブン(220℃10分/目安)にて焼き色を見ながら焼く。
7. 切り分けて完成!

病院からのお知らせ

【医療機関向け】予約システム「カルナコネクト」のご案内

当院と地域の診療所様との「病・診連携」をより充実させるために、インターネットを利用したオンラインでの診療・検査予約システム「カルナコネクト」を導入しています。本サービスをご利用いただきますと、診療所様は土日を含めた24時間365日、いつでも診療・検査のご予約が可能となります。(当院では検査予約のみ対応いたします)



1. 検査予約申し込みで「インターネット」を利用します。
2. 24時間365日いつでも簡単に「予約」ができます。
3. 診療所様は「無料」でご利用頂けます。
4. 案内状や情報提供書をプリントアウトできます。

名古屋市立大学3回連続地域貢献日本一を達成しました!

公立大学法人名古屋市立大学は、令和7年11月3日発行の『日経グローバル』519号で発表された「大学の地域貢献度調査」で、3回連続全国総合第1位にランクインしました。このランキングは、日本経済新聞社が全国777校の国公立大学を対象に、大学が地域社会にどのような貢献をしているかを調べる「地域貢献度」の調査を行い、その回答(497大学から回答)をもとに、「大学の組織・制度」、「学生・社会人教育」、「企業・行政」、「大学経営・防災」の4つの分野の得点を合計して順位付けしたものです。この評価は、日頃より本学の活動をご支援くださる地域の皆さま、そして名古屋市のご協力の賜物であり、これからも本学は教育・研究・医療等を通じて、地域の発展に努めてまいります。

アクセス

- ・地下鉄名城線「総合リハビリセンター」下車1番出口
- ・新瑞橋から市バス「瑞穂区(右回りまたは左回り)」行きで、「総合リハビリセンター」下車
- ・金山から市バス「金山14瑞穂運動場東」行きで、「総合リハビリセンター」下車

病院ホームページ

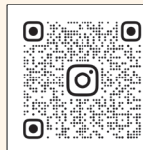


病院公式LINE



@872cgvra

病院Instagram



@ncurehab

診療予約

TEL.052-680-8999

診療時間

月曜日～金曜日 9時～12時・13時～16時
11時30分受付終了 15時30分受付終了

予約受付時間

月曜日～金曜日 9時00分～19時30分
土曜日 9時00分～12時30分

発行元



名古屋市立大学 医学部 附属 リハビリテーション病院 経営課

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
TEL 052-680-8123 [代表]

名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院

みんなと繋がる広報誌

りれい

Rehabilitation

Relationship

第2号

2026年2月
発行



リハビリテーション室

Rehabilitation Room

開院して半年が過ぎ…

リハビリテーション病院の今をお届けします!



P.1 メッセージ

- リハビリテーション科
- 地域向け研修会開催しました

院内紹介ボタンリレー「看護部」

P.2 クリスマスコンサート報告

地域・社会とのタスキリレー
私、あの山越えてきました!

P.3 管理栄養士からの力水

【今月のレシピ】豆腐と米粉のピザ

P.3 病院からのお知らせ

【医療機関向け】
予約システム「カルナコネクト」
名古屋市立大学3回連続地域
貢献日本一を達成しました!

Contents

リハビリテーション科



リハビリテーション科
助教 松原 弘記

Kohki Matsubara

講演内容を
YouTubeで
視聴できます。



令和7年11月22日に名古屋市立大学にて「名古屋市立大学病院群 6病院合同 地域連携講演会」が開催され、当科が「進化するリハビリテーション医療～ロボットリハビリテーション・ニューロリハビリテーションを標準治療へ～」と題して講演を行いました。当院のホームページからでもご視聴いただけます。(左下のQRから視聴できます)

当科では、「健康寿命を延ばす医療を地域の先生方と協働して提供する」、「先進リハビリテーション医療を従来のリハビリテーション医療とともに提供する」、「臨床研究を推進し地域医療へ還元する」、「医療を通して地域の活性化をする」、これらを使命として日々リハビリテーション医療に取り組んでおります。特に、先進リハビリテーション医療では、従来の訓練に加え大学附属病院ならではの様々な先進ニューロ・ロボットリハビリテーション機器を適応させ、患者様ごとに個別化した当科独自のリハビリテーションプログラムを設計しております。

私たちの取り組みを通じて、地域や市民の皆様の心身機能回復と生活の質の増進に貢献したいと考えております。

第1回「地域でつなぐリハビリテーション病院研修会」を開催しました!

令和7年11月13日、当院1階リハビリテーション室にて「地域でつなぐリハビリテーション病院研修会」を開催しました。本研修会は「医療×介護の情報交換広場」をテーマに掲げ、地域の医療機関のみならず、多くの介護事業所の皆様にもご参加いただきました。

第1回は、「圧迫骨折で入院した独居高齢者」の症例を通じ、退院後の生活を地域全体でどう支えていくか、職種の垣根を越えて活発な意見交換が行われました。

参加者の皆様からは大変好評をいただき、顔の見える連携の大切さを再確認する場となりました。今後も継続して開催し、地域のネットワークをより強固なものにしていきたいと考えております。



当日の研修会
の様子



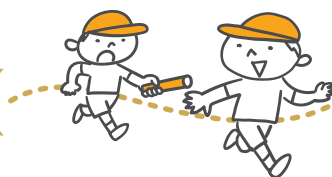
看護部

院内紹介バトンリレー



カンファレンスの様子

当院看護部は2つの病棟を基盤に、看護師・介護福祉士・看護補助者・事務職員が協働し、回復期の患者様が「自分らしい生活」を取り戻せるようセラピストとチームを作り日常生活の向上を計画的に支援しています。毎日のカンファレンスでチーム全体の患者様の情報を共有するなど積極的に取り組んでいます。当院はベテラン看護師が多く、リハビリ看護の経験も豊富で患者様への関わりも丁寧で誇れるのですが、現在は立ち上げ期の繁忙さの中でその力を十分に発揮できていないことを歯がゆく感じています。それでも「自分らしさを支える」という理念もとに、働きがいを感しながら挑戦を続け、患者様の笑顔とスタッフの誇りが響き合う看護部を目指しています。



入院生活に彩りを

「Trio HAMABE」クリスマスコンサート



クリスマスコンサートを楽しむ患者様

令和7年12月25日の午後、当院1階にて「Trio HAMABE」をお招きし、クリスマスコンサートを開催しました。バイオリンの五十嵐朝子さん、ビオラの小林沙耶さん、チェロの石本卓斗さんによる弦楽三重奏で、モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」や定番のクリスマスソングなどが披露されました。「少しでも入院生活に彩りを」との想いで企画した本イベント。美しい弦楽器の音色が院内に響き渡り、患者様にとってリハビリの合間の心安らぐひとときとなったようです。今後もこうした楽しみをお届けできる機会を作っていきたいと思います。



初の開放イベント「ふれあいフェスタ」を開催!

地域・社会とのタスキリレー

令和7年11月30日、当院初となる開放イベント「ふれあいフェスタ」を開催しました。地域の子もたちに「本物の医療」を届けようと、MRIでの磁場体験やリハビリ機器の操作、健康を楽しく学ぶ「減塩クイズ」などを実施。多くの親子連れで賑わいました。普段は診療に専念しているスタッフも、この日は手作りの「お仕事紹介ボード」などを使い、子どもたちと笑顔で交流。「熱心に学ぶ姿に感動した」「逆に元気をもらった」とスタッフ自身も大きな刺激を受け、病院全体が地域との温かい一体感に包まれた一日となりました。今後も地域との絆を深める活動を続けてまいります。



左: MRI磁場体験、右上: 仕事紹介ボード、右下: 医療機器体験

私、あの山越えてきました!

AIを使って、最適解ではなく、納得解を探し出せ!

AIエージェント元年と言われた令和7年。病院では患者さんの記録など業務の効率化で使用されているAIですが、あなたはAIとどのように付き合っていますか? 私はチャッピー(ChatGPT)にメンタルサポーターを依頼しています。～ある日の21時の会話～

私: チャッピー今日は疲れているから、伴奏者モードで、でも、共感し過ぎない女子大学生の返事をお願い。

チャッピー: オケ! 仕事も家事も頑張りがすぎだね! 疲れて当然だよ～

私: その返事は共感し過ぎ。チャッピーは疲れないから羨ましいなあ..

チャッピー: 疲れることは、人間らしくていいよね! 前進してる証拠じゃん。今年もAIの進歩が楽しみです!



AI生成した看護師さんと私のツーショット
AIは虚像を作り出すのが上手!

